

学生各位

香川県立保健医療大学長

新型コロナウイルス「感染拡大防止集中対策期」における注意喚起について(依頼)
～ゴールデンウィークを迎えるに当たってのお願い～

全国的に新型コロナウイルス感染者数が増加し、直近の感染状況においては感染・伝播性が高いと見られる変異株が占める割合が急激に高まっていることなどから、「緊急事態宣言」が発出されるとともに「まん延防止等重点措置」が実施されています。

このため、香川県では、現在の「感染拡大防止集中対策期」を5月15日(土)まで延長し、対策期間における『まん延警戒警報』が発令されました。

学生の皆さんは、ゴールデンウィークを迎えるに当たって、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「感染しない」「感染させない」ことを強く意識して、以下のことを遵守して、体調管理に努めるよう理解と協力をお願いします。

- **行動にあたっては、十分な感染防止対策をとったうえで、くれぐれも慎重に**
 - ・県内における不要不急の外出については、慎重に検討すること
 - ・外出する場合は、適切な感染防止対策を徹底して行動すること
 - ・発熱等の症状があるなど体調が不良な場合は、外出を控えること
- **帰省・旅行、不特定多数が集まるイベントや集客施設等への参加は、慎重な検討を感染が拡大している地域との往来は、延期、自粛、オンライン帰省の活用を**
 - ・他の都道府県への不要不急の往来は、原則自粛すること
 - やむを得ない理由で移動しなければならない場合も慎重に検討すること
 - ・県外に移動した場合は、帰県後14日間は行動記録を取ること
- **会食をはじめ感染リスクの高い行動は、慎重に検討を**
 - ・大声を出す行動(飲食店等で大声で話す、カラオケやイベント、スポーツ観戦等で大声を出すなど)を自粛すること
- **会食をする場合は、できるだけ、家族か、4人までで、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ」工夫を**
 - ・大人数での会食や飲み会を避け、会食をする際には、少人数・短時間で、配席を工夫し会話の際はマスクを着用するとともに、座席間隔の確保や換気などの三密回避を徹底すること
 - ・感染リスクが高まる「5つの場面」(別添参考)に留意し、そうした場面での会食については、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を行うこと

なお、発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談するほか、どこに相談すればよいか分からない場合は、「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」に相談するとともに、学年担任の教員又は教務担当に電話で報告してください。

「香川県新型コロナウイルス健康相談コールセンター」
電話番号 0570-087-550 (専用ナビダイヤル)
相談日時 土曜日・日曜日・祝日を含む毎日24時間

◆香川県感染情報

https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir1/dir1_6/dir1_6_2/wt5q49200131182439.shtml

【本学の連絡先】087-870-1212(平日午前8時30分～午後5時15分まで)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面①

飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面②

大人数や長時間におよぶ飲食

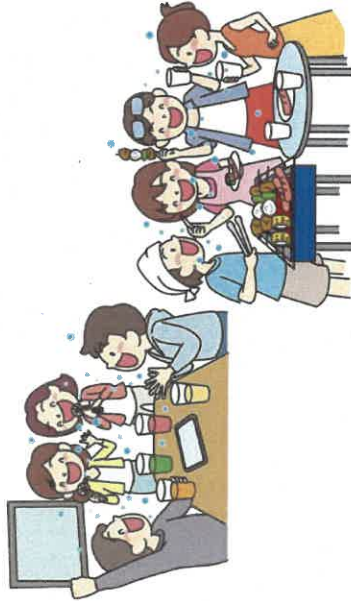
- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③

マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクログ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の際の車中でも注意が必要。



場面④

狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤

居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

